

脳卒中予防対策の推進について

平成 27 年度取組状況

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会・講演会

(1) 日時 平成 27 年 6 月 5 日（金）10 時～12 時

(2) 場所 岩手県民会館中ホール

(3) 内容

総 会：平成 26 年度事業報告及び平成 27 年度事業計画（案）について

基調講演：『政府戦略で始まった健康投資の社会的評価』

講師 東京大学政策ビジョン研究センター特任助教／ヘルスケア・コミ
ッティー株式会社 代表取締役会長 古井祐司 氏

講 演：『脳卒中（脳梗塞）経験者としてお伝えしたいこと』

講師 三井住友海上あいおい生命保険株式会社 営業推進部次長 川勝弘之 氏
（厚生労働省「治療と職業生活の両立等の支援対策事業実施委員会」委員）

2 岩手県脳卒中予防県民大会

(1) 日時 平成 27 年 8 月 1 日（土）10 時～16 時

(2) 場所 いわて県民情報交流センター（アイーナ）

(3) 内容

基調講演：『脳卒中について』

講師 岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野 助教 鳴海新介 氏

特別講演：『脳梗塞からの生還』

講師 エッセイスト・元NHKアナウンサー 山川静夫 氏

食務レポート：『岩手の食財で元気になろう!』

レポーター 料理研究家・メグミプランニング代表 小野寺 恵 氏

イベント：帰ってきたわんこダンスキャラバン

減塩レシピの実践講座と試食会

関係団体によるポスターセッション（健康情報の紹介）

健康管理機器体験コーナーの開設

栄養士による食生活相談

3 広報・啓発事業

【県と岩手県脳卒中予防県民会議会員（以下「会員」という）の協働による取組】

(1) 広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）

① 協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、
メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防などに関する情報を掲載し、
加入している 17,000 企業に対し配布

② 岩手日報生活面への脳卒中予防に関する記事の連載（協会けんぽ岩手支部・岩手
日報・県医師会・県栄養士会・県）

③ 県の広報媒体へ脳卒中予防に関する情報の掲載

- (2) 健康増進に関する連携協定（大塚製薬株式会社・県）
健康いわて21プラン（第2次）の推進等に係る健康増進に関する取組について協定を締結（平成28年1月12日）

【会員等による独自の取組】

- (1) いわて元気〇（げんきまる）キャンペーン（テレビ岩手）
平成27年1月から「5きげんテレビ」及び「ニュースプラス1いわて」の中で番組横断コーナーとして「健康増進」や「予防」に関する話題の特集を放送するとともに、ホームページでバックナンバーを閲覧できるようにしている。
- (2) 岩手県民健康応援キャンペーン（岩手日報社・アクサ生命保険）
県民一人ひとりが自ら健康状態を自覚し、健康的な生活習慣を確立するとともに、社会全体で県民の主体的な健康づくりを支援するプロジェクトを紙面展開
- (3) 企業向け健康経営セミナー（岩手日報社・アクサ生命保険）
・テーマ：「目指せ健康経営／社員の健康管理のススメ」
・講師：東京大学政策ビジョン研究センター 特任助教
ヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役会長 古井祐司 氏
・平成27年9月18日（金） プラザおでって
- (4) 脳卒中市民シンポジウム（(公社)日本脳卒中協会主催）
平成27年5月31日（日） アイーナ
- (5) Stop! No 卒中（日本ベーリンガーインゲルハイム㈱主催、日本脳卒中協会後援）
平成27年11月5日（木） ホテル東日本
- (6) 岩手県国民健康保険フォーラム（岩手県国民健康保険団体連合会 主催）
平成27年8月25日（火） 盛岡市アイーナ
- (7) 岩手医科大学 創立120周年記念イベント「健康フェス2015」
（岩手医科大学 創立120周年記念事業実行委員会主催）
平成27年9月12日（土） 岩手医科大学矢巾キャンパス
- (8) 「あたらない老後をむかえるために」～目指せ！健康長寿プロジェクト～県民公開講座
（(公社)岩手県栄養士会 主催）
平成27年 9月16日（水） プラザイン水沢（奥州市）
平成27年10月14日（水） ホテルルイズ（盛岡市）
- (9) 2015いわてリハビリテーションフォーラム
（(公財)いわてリハビリテーションセンター 主催）
平成27年11月3日（火） 盛岡市アイーナ
- (10) 情報誌遊悠「ゆうゆう」による啓発
減塩の取組みについて紙面展開（平成28年1月）
- (11) いわて健康経営宣言事業（全国健康保険協会岩手支部 主催）
平成27年10月～
・社員の健康管理への積極的な取組により生産性向上に繋げ、健全な経営を維持する「健康経営」の推進を目的として、健康経営に取り組む事業所を支援。
・事業主は、「健康診断の実施」「社員の生活習慣改善を支援」「検査・治療の推奨」

「スモールチェンジ活動推奨」の実施を宣言し、従業員と一体となり実施。

- ・「いわて健康経営宣言」の特典及び支援の主な内容は以下のとおり

協会けんぽ岩手支部作成の「いわて健康経営宣言」の宣言書の贈呈

企業の健康度がわかる「医療費適正化診断シート」の贈呈

個人の健康管理のためのインターネットサービスの提供

提携金融機関において借入等の際の「金利優遇等」

取組み内容が優良な事業所の広報誌、メディアを用いた取組内容のPR 等

【県・保健所による取組】

- (1) 児童生徒被災地健康課題対策講演会（沿岸4保健所）

若年期から適切な生活習慣を身につけ、自己の健康へのセルフケアについての意識づけを行うため、沿岸被災市町村の児童・生徒等を対象として講演会を実施

[16回開催 参加者数 889名]

- (2) 被災地血圧自己管理推進員の養成（沿岸4保健所）

応急仮設住宅等に居住する被災者の血圧の適正な自己管理の推進を図るため、血圧自己管理の必要性を正しく理解し、被災地住民への血圧の適正な自己管理の普及啓発を担う人材を養成するための養成講習会を実施

[14回開催 受講者数 538名]

- (3) ホームページによる普及啓発

・いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを県民向けに分かりやすく加工し提供（岩手県環境保健研究センター）

4 食生活改善事業

【県・保健所と会員の協働による取組】

- (1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進事業（県・県内スーパー等・保健所）

毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」と設定し、県内スーパー等で減塩・適塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所において、県民の減塩・適塩等の意識の醸成を図るためのキャンペーン活動を実施

[県8回実施 協力事業所数6事業所、保健所67回実施]

(主な実績) 平成27年7月28日(火) マイヤ仙北店 ほか

平成27年9月28日(月) ビックハウスアイスアリーナ前店 ほか

平成27年10月28日(水) ユニバース盛岡南店 ほか

平成27年11月28日(土) ビックハウス青山店 ほか

平成27年12月28日(月) マイヤ仙北店

平成28年1月28日(木) マルイチみたけ店 ほか

平成28年2月28日(日) ユニバース青山店(予定)

平成28年3月28日(月) マイヤ仙北店

【いわて減塩・適塩の日】

岩手県脳卒中予防県民会議が平成26年7月28日に設立されたことに因んで、毎月「28日」を設定。

【会員による独自の取組】

- (1) 「突撃！隣のおみそ汁」事業（岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会）

食生活改善推進員が調査協力世帯を訪問し、調査協力世帯が家庭で調理した味噌汁を塩分測定器により塩分濃度を測定するとともに、減塩・適塩習慣の指導や普及啓発等を実施

 - ・平成 27 年度目標 2,600 件（5 年間で人口の 1 %程度）
 - 〔訪問世帯数 4,681 件〕
- (2) ヘルシーランチフェア（住友生命・岩手県栄養士会）
 - ・平成 27 年 4 月 24 日（金）に盛岡グランドホテルで実施
 - 講師：岩手県栄養士会 会長 福田禮子 氏
 - 参加者：約 80 名

【県・保健所による取組】

- (1) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施

〔147 回開催 参加者数 7,968 名〕
- (2) 外食栄養成分表示店登録事業（県保健所・盛岡市保健所）

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

〔登録数 398 店 ※前年度末から 36 店の増〕
- (3) 減塩リーダー養成講習（保健所）

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

〔51 回開催 受講者 2,754 名〕

5 健康運動事業

【県による取組】

- (1) 運動習慣に対する機運醸成
 - ・帰ってきたわんこダンスキャラバン
 - 8 月 1 日の県民大会の中で、岩手国体公式ダンスであるわんこダンスキャラバンを行うことで、国体の開催を契機とした運動習慣の定着を呼びかけたもの
- (2) 健康運動指導者講習会の開催

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための講習会を開催

〔平成 27 年 12 月 3 日開催 84 人〕

6 禁煙事業

【県と会員の協働による取組】

- (1) 「第 15 回全国禁煙推進研究会 2015 世界禁煙デー岩手フォーラム」
- ・テーマ「禁煙それがスタートライン きれいな空気を岩手から」
 - ・シンポジウム 1「大学の全面禁煙化～その意義・現状・課題～」
 - ・シンポジウム 2「飲食店での完全禁煙」
 - ・特別講演 1「受動喫煙防止法制定に向けて」講師 参議院議員 松沢成文 氏
 - ・特別講演 2「日本のタバコ対策の現状と打開策」
講師 (一社)日本禁煙学会理事長 作田 学 氏
- ・平成 27 年 6 月 6 日 (土) いわて県民情報交流センター (アイーナ)

【県・保健所による取組】

- (1) 煙のない「おもてなし」店登録事業 (県・保健所)
- 岩手国体に向けた来県者へのおもてなしの準備のひとつとして、従来の登録対象である禁煙又は分煙を実施している飲食店及び喫茶店に加え、宿泊施設等の拡大に向けた取組を推進
- (2) 職場での受動喫煙防止対策の促進 (保健所)
- 保健所で企業・事業所を訪問し、受動喫煙防止対策が進んでいない職場への対策を推進 [禁煙・分煙登録店 408 店 ※前年度末から 18 店の増]
- (3) 禁煙サポート推進事業 (県)
- 検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙希望者に禁煙補助剤を配布するなどにより禁煙支援を推進
- [平成 27 年度支援者数 100 名]

7 岩手県脳卒中予防県民会議への関係機関・団体の参画状況

区分	会 員 数	
	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末
経済・産業関係団体	30	54
学校・教育関係団体	17	17
医療関係機関・団体	57	57
医療保険者	11	11
保健・福祉関係団体	13	13
地域活動団体等	14	20
マスコミ関係	17	17
金融・保険業	14	17
不動産業	2	2
製造業	30	34
卸小売業	18	39
電気・ガス・石油業	2	7
建設業	8	9
サービス業	11	12
運輸通信業	28	28
国・行政機関	7	7
計	279 機関・団体	344 機関・団体

平成 28 年度事業計画

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

- (1) 日時 平成 28 年 7 月 30 日 (土) 13 時～13 時 20 分
- (2) 場所 岩手県公会堂大ホール
- (3) 内容
 - ・ 平成 27 年度事業報告について
 - ・ 平成 28 年度事業計画 (案) について

2 岩手県脳卒中予防県民大会

- (1) 日時 平成 28 年 7 月 30 日 (土) 13 時 30 分～16 時
- (2) 場所 岩手県公会堂大ホール
- (3) 内 容
 - 総合司会：古舘友華アナウンサー (テレビ岩手)
 - 基調講演：『脳卒中とその予防 ～岩手県・脳卒中 全国ワースト 1 をうけて』
岩手医科大学 脳神経外科学講座 講師 吉田研二 氏
 - 研究報告：『脳卒中予防県民運動アンケート調査』から
岩手県立大学看護学部地域看護学講座 講師 松川久美子 氏
 - 特別講演：『あたりはずれのあたり』マルチタレント 伊奈かつぺい 氏
 - イベント：関係団体によるポスターセッション
(岩手県予防医学協会、岩手県対がん協会、岩手県栄養士会、協会けんぽ岩手支部、大塚製薬(株)仙台支店)
健康測定コーナー (血圧測定、末梢血液循環機能測定「BCチェッカー」)

3 広報・啓発事業

【県と会員の協働による取組】

- (1) 会員広報誌等による広報・啓発 (協会けんぽ岩手支部・県) 【継続】
 - ① 協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防などに関する情報を掲載し、加入している 17,000 企業に対し情報発信
 - ② 県の広報媒体へ脳卒中予防に関する情報の掲載
県政番組やいわてグラフ等を活用した「脳卒中予防」や「いわて減塩・適塩の日」の周知広報等の実施

【会員等による独自の取組】

- (2) いわて元気〇 (げんきまる) キャンペーン (テレビ岩手) 【継続】

平成 27 年 1 月から「5きげんテレビ」及び「ニュースプラス1いわて」の中で番組横断コーナーとして「健康増進」や「予防」に関する話題の特集を引き続き放送することに加え、講演会やキャンペーンスポットCMの放送、流通業者とのタイアップなど、立体的な連動企画を実施

平成 28 年 7 月 21 日（木） テーマ：減塩の取組について

- (3) 岩手県民健康応援キャンペーン（岩手日報社・アクサ生命保険）【継続】

県民一人ひとりが自ら健康状態を自覚し、健康的な生活習慣を確立するとともに、社会全体で県民の主体的な健康づくりを支援するプロジェクトを紙面展開

（平成 28 年 6 月 15 日付け岩手日報）

- (4) 企業向け健康経営セミナー（岩手日報社・アクサ生命保険）【継続】

- ・期 日：平成 28 年 9 月 21 日（水）にプラザおでつてにおいて開催予定
- ・テーマ：「目指せ健康経営／社員の健康管理のススメ」（仮称）
- ・講 師：東京大学政策ビジョン研究センター 特任助教

ヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役会長 古井祐司 氏

- (5) 世界高血圧の日 市民公開講座・盛岡（（NPO）日本高血圧協会主催）

期日：平成 28 年 5 月 29 日（日）／場所：プラザおでつて

- (6) 岩手医科大学創立 120 周年記念イベント「健康フェス 2016」（岩手医科大学主催）

期日：平成 28 年 9 月 10 日（土）／場所：同大学矢巾キャンパス

- (7) 健康づくりセミナー～日常や職場における身近な取り組み（仮称）

（協会けんぽ岩手支部主催）

期日：平成 28 年 11 月 7 日（月）／場所：アイーナ

【県・保健所による取組】

- (1) 児童生徒被災地健康課題対策講演会（沿岸 4 保健所）

若年期から適切な生活習慣を身につけ、自己の健康へのセルフケアについての意識づけを行うため、沿岸被災市町村の児童・生徒等を対象として講演会を実施

- (2) 被災地血圧自己管理推進員の養成（沿岸 4 保健所）

応急仮設住宅等に居住する被災者の血圧の適正な自己管理の推進を図るため、血圧自己管理の必要性を正しく理解し、被災地住民への血圧の適正な自己管理の普及啓発を担う人材を養成するための養成講習会を実施

- (6) ホームページの活用

- ・会員の取組を集約し、好事例を紹介
- ・会員による健康に関するイベントのポータル化
- ・いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを県民向けに分かりやすく加工し提供（岩手県環境保健研究センター）

4 食生活改善事業

【県・保健所と会員の協働による取組】

- (1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進事業（県・スーパー・味の素等・保健所）【継続】

毎月 28 日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、県内スーパー等で減塩・適塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所において、県民の減塩・適塩等の意識の醸成を図るためのキャンペーン活動を実施

【会員等による独自の取組】

- (1) 「突撃！隣のおみそ汁」事業（岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会）【継続】
食生活改善推進員が調査協力世帯を訪問し、調査協力世帯が家庭で調理した味噌汁を塩分測定機により塩分濃度を測定するとともに、減塩・適塩習慣の指導や普及啓発等を実施
・平成28年度目標2,310世帯（3年間で県人口の1%程度を目標）

【県・保健所による取組】

- (2) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）【継続】
小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施
- (3) 外食栄養成分表示店登録事業（保健所）【継続】
外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進
- (4) 減塩リーダー養成講習（保健所）【継続】
管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

5 健康運動事業

【県による取組】

- (1) 表彰制度の創設【新規】
従業員の健康維持・増進のため、「運動」の分野において、優良な取組を実施している企業・事業所を対象として表彰するもの
- (2) 健康運動指導者講習会の開催【継続】
健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための健康運動指導者講習会を開催

6 禁煙事業

【県・保健所による取組】

- (1) 禁煙・分煙の「おもてなし」店登録事業（県・保健所）【一部新規】
従来の登録対象としている禁煙又は分煙を実施している飲食店及び喫茶店に加え、宿泊施設等に拡大し、実施に関する情報をホームページで公開
- (2) 職場での受動喫煙防止対策の促進（保健所）【継続】
保健所で企業・事業所を訪問し、受動喫煙防止対策が進んでいない職場への対策を推進
- (3) 禁煙サポート推進事業（県）【継続】
検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙希望者に禁煙補助剤を配布するなどにより禁煙支援を推進

7 その他

- (1) 地域協働研究（岩手県立大学、全国健康保険協会岩手支部、岩手産業保健総合支援センター、花巻市、岩手県）【新規】

岩手県立大学平成 28 年度地域協働研究（地域提案型・前期）に採択

研究者：岩手県立大学看護学部 松川久美子講師

研究テーマ：「職域における健康・予防体制の整備に関する検討について

～脳卒中等生活習慣病予防にむけた働き世代の健康支援体制整備に関する研究～」

研究期間：平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月

- (2) 会員の拡充【継続】

県民へのさらなる啓発を推進し、各種事業への連携を図るため、より多くの企業や団体等の参加を促進

設立時	103 団体
平成 28 年 8 月 31 日現在	345 団体
平成 28 年度目標	450 団体